

(数学 I) 学習指導案

日 時	平成19年5月29日(火) 第2時限	指導者	(省略)										
学級・群	1年次3組B講座	教室	403教室										
単 元	第1章方程式と不等式	教科書	改訂版 新編 数学 I (数研出版)										
指導計画 時間配当	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 多項式の加法と減法・・・1時間</td> <td style="width: 50%;">6 1次方程式と1次不等式・・・3時間</td> </tr> <tr> <td>2 多項式の乗法・・・2時間</td> <td>7 絶対値と方程式・不等式・・・1時間</td> </tr> <tr> <td>3 因数分解・・・3時間</td> <td>8 2次方程式・・・3時間</td> </tr> <tr> <td>4 実数・・・1時間</td> <td style="text-align: right;">(本時はその2時間目)</td> </tr> <tr> <td>5 根号を含む式の計算・・・2時間</td> <td></td> </tr> </table>			1 多項式の加法と減法・・・1時間	6 1次方程式と1次不等式・・・3時間	2 多項式の乗法・・・2時間	7 絶対値と方程式・不等式・・・1時間	3 因数分解・・・3時間	8 2次方程式・・・3時間	4 実数・・・1時間	(本時はその2時間目)	5 根号を含む式の計算・・・2時間	
1 多項式の加法と減法・・・1時間	6 1次方程式と1次不等式・・・3時間												
2 多項式の乗法・・・2時間	7 絶対値と方程式・不等式・・・1時間												
3 因数分解・・・3時間	8 2次方程式・・・3時間												
4 実数・・・1時間	(本時はその2時間目)												
5 根号を含む式の計算・・・2時間													
本時の 指導目標	1 前時の平方根による解法を発展させ、2次方程式の解の公式を導くことができることを理解させる。 2 解の公式を用いて、2次方程式を解くことができるようにする。												
事前指導 と準備	教科書 p44 練習 62 を解いてくる。												
指導過程及び指導内容		時間 (分)	指導上の留意点及び評価の観点										
導 入	前時の課題の解説をする。	5	・授業開始前に生徒に板書させておく。										
展 開	1 図形的イメージから2次方程式を解くことを説明する。 2 解の公式の説明をする。 3 解の公式を用いて、2次方程式を解く。 4 教科書の問題を解く。	5 10 10 15	・ <i>関心・意欲・態度</i> 2次方程式の問題を、図形の面積として、とらえることができる。 ・ <i>表現・処理</i> 解の公式を導くことができる。 ・解の公式に代入する係数の値を確認させる。 ・机間指導を行い、理解度を確認する。 ・生徒に解答を板書させる。 ・ <i>表現・処理</i> 解の公式を用いて、正確に解を求めることができる。										
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をし、課題を与える。	5	・本時の内容を確認させる。										
備 考	総合学科 生徒数20名(男子10名 女子10名)												